

## 第二回 協力隊主催 南端地区ふれあいサロンを開催しました

2016年3月12日の土曜日に第一回となる、まちづくり協力隊主催の南端地区ふれあいサロンを開催しました。今回のメインイベントは「布草履教室」です。高齢者の方にお聞きしたところ、昔は自分の履物草履は自分で作っていたそうですが、今では作り方を覚えていた方も少なくなっています。そこで、今回は二名の講師をお招きして布草履の作り方に挑戦してみました。事前にお声かけしたところ、たくさんの方が余り布を提供してくださり材料不足はありません。ところが、いざとなったら編み始め(つま先)の作り方でつまづく方が多数。講師の先生方はあちらこちらで引っぱりだこ、質問攻めにあっていました。それを見て企画した私も「これはちよつと難しかったかな?」と焦りました。参加者の皆さんは諦めることなく夢中になって取り組んでいました。あつという間にお昼前になり、さわやか日出さんによるストレッチャ体操を皆さんがお楽しみのお昼食となりました。献立はだんご汁と炊き立てご飯のおにぎり、手



### 最近の魚見桜

台風の被害などにより、枝分かれをした片方は折れてしまったものの、接ぎ穂をした2世桜が順調に育っており、満開時は見ごたえがありました。桜を囲むように咲く菜の花と共に一見の価値あります。地元の魚見桜を愛する会の皆さんも熱心に活動を続けており、私も今年も町内の案内表示板の設置をお手伝いさせていただきます。

日出町の宝物の一つである魚見桜復活に向け、また来年以降の桜まつり復活を目指して、私も全力でサポートしたいと思います。

作りのお漬物です。「みんなで食べると美味しいね」「いつもお代わりなんかないのにお代わりがなかったら嬉しい言葉が聞かれました。男性の参加者からお代わりをしに調理場に立つ様子も見られて、調理に携わった方も喜んでいました。苦戦した布草履も午後はいよいよ鼻緒をつけて仕上げとなりましたが、力加減を間違えて小さく小さく縮んでしまったり、片方しか出上来るような作品でも少なかったかもしれません。でも好みで選んだ生地を使い、個性的な草履が出来上がったのでみんなで見せ合って大笑いしました。今回は、スタッフを含めて総勢40名での賑やかなサロンでした。講師の先生方、調理をして下さった皆さん、さわやか日出さん、野菜や余り布を提供して下さいました皆さんに心から感謝します。次回の南端地区ふれあいサロンは4月9日土曜日にそば打ち教室を行う予定です。

## 『おおが雛めぐり漁船ツアー』大好評!



大勢のお客様にお越しいただいたひじ雛めぐり期間中に、「～日出藩参勤交代航路でいく～おおが雛めぐり」漁船ツアーがありました。開催日の2日間は両日とも晴天に恵まれ、海も穏やかで最高の船旅日和でした。二の丸館、的山荘のお雛様を見学したツアー客一行は、日出港で漁船に乗船。初めて海側から見る日出町の海岸線に歓声をあげていました。30分ほどで深江漁港に入港。回天記念公園で迎えるバスに乗り込み、昼食会場であるホテルソーラージュに向かいます。別府湾を一望できるレストランでの昼食は特製雛弁当をお召し上がりいただきました。

日出町暮らし初心者の協力隊 桑原です。

三寒四温を肌で感じる今日この頃です(3月15日現在)が、大流行のインフルエンザにもかからず、風邪すらもひかず毎日楽しくあつたと過ごしています。

最近覚えた大分弁「すもつくれん」「すばえる」早く使いこなせるようになりたいです。

日出町に移住して早半年が過ぎましたが、まだまだ知らないこと、行ったことがない所がたくさんあります。規模の大小に関わらず行事のお手伝いや取材等、お声かけ頂けると嬉しいです。

大神地区の雛めぐりポイントを巡る午後は、暖かい雰囲気の花の美術館で雛飾りと展示作品を鑑賞、石ころたちの動物園では工夫を凝らした庭の展示作品を撮影する方が多かったようです。「帰ったら私もやってみよう」と、絵を描くのちよつどいい大きさの石ころを購入するお客様もいました。大神ファームは菜の花とミモザがちょうど満開で、眩しいような鮮やかな黄色に染まっていた。帰路は深江漁港で乗船、日出港に着いてからお客様に感想を伺ったところ、「食事も美味しくとても楽しかったけど、これで元は取れてるの?」と心配されてしまいました(笑)

### 募集中! 『日出町に移住したい方が待っています』

#### 空き家バンクに登録しませんか?

空き家を貸したい方、売りたい方はご相談下さい。



お問い合わせ先: 政策推進課 一宮 0977-73-3116

